

力走する小百合さんとカナナ。

沿道の人々のあたたかい声援。

力強い感動がいつまでも心に残ります。——！

文部科学省選定



★★★★ 文部科学大臣賞受賞 ★★★★★

全盲の
小百合さんと
盲導犬カナナが
五キロの
ロードレースに挑戦
みごと
「走り抜いた」ことで
多くの人々に
勇気と
希望をあたえました。
この感動を
ドラマで
全国の人々に
伝えたい！

教育映画祭
最優秀作品賞受賞

命

の尊さを描いた

感動の
名作です

優秀映画鑑賞会推薦
青少年育成国民会議推薦
大阪府教育委員会協議推薦
福岡県社会福祉協議会推薦
福岡県推薦

監督 原田 隆司
小百合さん 大幸由美子
盲学校の先生 目黒 祐樹
お母さん 赤座美代子
盲導犬訓練士 三波 豊和
福岡県社会福祉協議会推薦
監製 大塚浩三
原案のおじいさん 鳳 五朗
監製さん 長門 啓助
お父さん 川谷 拓三
製作 八頭司 享



心をむすぶ 愛のハーネス

原作 坂井ひろ子

盲導犬カナナわたしと走ってより(偕成社刊)

ありがとうカナナ
カナナが人間と共に
懸命に生きてくれた
ことを——！
私たちは忘れません。

プロデューサー/菅田 浩・八頭司重信 脚本/石村藤子 音楽/クニ河内 撮影/平山善樹 照明/井上孝二 録音/山口 勉 編集/荒木健夫 記録/谷 慶子 整音/栗山日出登

協力/JR九州・西日本鉄道・九州電力・テレビ西日本・麻生飯塚病院・九州セルラー電話・ライオンズクラブ国際協会337-A地区・asics

特別協力/西日本新聞社・西日本新聞エリアセンター連合会・(財)福岡盲導犬協会

制作協力/映画村エンタープライズ・東映京都撮影所・東映化工

制作/「盲導犬カナナわたしと走って」映画を作る会

制作配給/共和教育映画社



心をむすぶ 愛のハーネス

坂井ひろ子原作
(偕成社刊)

盲導犬カナ わたしと走ってより

文部科学省選定

製作 八頭司 享

監督 原田 隆司 脚本 石村 嘉子 音楽 クニ 河内



小百合さん…………… 太宰由美子
盲学校の先生…………… 目黒 祐樹
お母さん…………… 赤座美代子
盲導犬訓練士…………… 三波 美和
盲導犬協会理事長…………… 陸 豊朗
食堂のおじさん…………… 鳳 啓五
獣医さん…………… 長門 勇助
お父さん…………… 川谷 拓三

プロデューサー/管田 浩・八頭司重信 撮影/平山善樹 照明/井上孝二 録音/山口 勉 編集/荒木健夫 記録/谷 慶子 整音/粟山日出登

力強く生きる小百合さんとカナの感動の物語!

〈ストーリー〉

小学校に入学した頃の小百合さんは、音楽と体育が大好きな女の子でした。ところが二年生、三年生と大きくなるにつれて次第に視力が劣えてきました。先天性緑内障という病気になっていたのです。

北九州盲学校に転校して、中学部に進級する頃には完全に失明してしまいました。一時は絶望した小百合さんでしたが、お父さんをはじめ家族や友人、盲学校の先生方のはげましでスポーツに光を見出すことができました。

毎日練習に励んでいるうちに、60m 音響走などの短距離に、いい記録が出るようになりました。やがて努力が認められ、いろいろな身体障害者スポーツ大会にも出場し、素晴らしい記録と成績を残すことができました。

盲学校を卒業した小百合さんは、お父さんや福岡盲導犬協会のお世話で、盲導犬カナと出会いました。二人は深い信頼で結ばれ、ハーネスを通してお互いの気持ちが手にとるように分かりあえるようになりました。しかし世間では、まだまだ盲導犬に理解が少なく、一部のレストランやホテルでは「犬は困ります」「他のお客様に迷惑になります。」と入れてくれず、悲しい思いをすることが、たびたびです。

小百合さんは、お父さんの勧めもあり、5kmの大会「福岡けやき通り・レディースロードレース」に挑戦します。

しかし、全盲の人が参加した前例がなく、たくさんの人々の協力が出場が決まりました。その直後お父



価格 ⑬ ¥420,000 ⑭ ¥73,500 DVD ¥73,500 (税込)

さんはそのレースを見ることもなく癌で亡くなりました。悲しみの小百合さんは、レースの当日お父さんの写真を胸に、カナと一緒に伴走者に囲まれてスタートします。

沿道は応援の人でいっぱいです……。

「小百合さん、頑張って!」「カナ頑張れ!」と大きな声援が波のようにつなげて広がります。……ひたすら走る小百合さんとカナ……競技場はもう目の前です。……競技場に入る小百合さんとカナ、場内は大歓声です。アナウンサーの声にも力が入ります。「……カナは素晴らしい盲導犬です。小百合さんとカナは、目が不自由でも走れることを私たちに教えてくれました。……」

そして、あたたかい声援につつまれて小百合さんは、カナと一緒にゴールインし「私とカナを励ましてくれた皆さんありがとう」「私に勇気をくれた皆さんありがとう」と涙を流しながら力強く応えるのでした。

(上映時間55分)

—— ありがとう カナ ——

カナは人間と共に懸命に生きてくれたことを——!

—— 私たちは忘れません ——

坂井ひろ子先生の「盲導犬カナ・わたしと走って」の児童文学書が出版され、大きな感動を呼び話題になりました。

そして、多くの人々の支援により、ここに力強い感動の作品として「盲導犬カナ」の映画が完成いたしました。

ぜひご家族でご鑑賞下さい。

親と子で語り合える作品です—!